

「学校教育目標」と「令和6年度重点目標」に向けて

やさしく いきる

重点目標 **—あいさつがいっぱい えがおもいっぱい—**

豊かな人間性

- ・自分事として捉え、目標をもって努力する。
- ・（努力し）自分を向上させる。
- ・礼儀正しく真心をもって接する心

健康・体力

- ・授業や保健的活動の記録の積み重ね
- ・心の健康づくり
- ・安全で清潔な環境づくり

資質・能力の育成

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- 自分事として物事を捉え、見通しをもって活動する。（居場所づくり）
- 自分から仲間とかかわる。（絆づくり）
- 自分の思いを相手のことを考えて伝える。（自己決定）

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- 学習計画を立て、見通しをもって粘り強く取り組んでいる。
- 仲間とかかわり、自分の思いや考えを深めている。
- 相手意識、目的意識をもって自分の思いや考えを伝えている。

子供の实態

- ・素直で優しい・仲間を受け入れようとする・見通し、目的があると頑張る・自分事として捉えの弱さ・表現力が乏しい・自信がなく、あきらめやすい

子供の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

- ・一人一人と共感的に関わり信頼関係を築く。
- ・子供の特性を正しく理解する。
- ・その子に合った手立てを打ち負担を減らす
- ・思いをもって始めたことを認める。

目指す子供の姿

- 自分事として捉える子
- 自ら一歩ふみ出す子
- 自分の思いを仲間に伝える子

何を学ぶか

○教育課程の編成

- ・前学年までの学習内容や活動内容を踏まえた学び
- ・学年間や教科間のつながりを踏まえた学び
- ・幼小のつながりや中学校を見通した学び

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- ・自分から伝え仲間と学び合い、表現する（研修）
- ・自分事として話し合い、支え合って活動する〈特活〉
- ・自己の学びを授業や活動の記録を基に振り返る〈体育〉

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- ・全教職員の一人一人の子に寄り添う生徒指導
- 家庭、地域にとって、相談しやすい教職員集団
- 教職員の危機管理意識(未然防止と初期対応)の向上☆家庭、地域、教職員に身近で寄り添う学校の窓口

安心・安全を守る

- ・避難体制、防犯体制、事故防止体制の強化・確認
- ・子供の危険回避能力の育成

開かれた学校作り

- ・学校運営協議会と連携した「地域とともにある学校づくり」の推進
- ・PDCAサイクルの確立と学校からの正確な情報発信